



NPOの資金サポートシステム循環者ファンド(愛称:Jファンド)が 団体登録をスタート

地域通貨「Jマネー」を使って、市民(個人、企業、団体など)からの寄付を募る資金サポートのシステム循環者ファンド(愛称:Jファンド)が稼働を始めました。Jファンドに登録していただきますと、Jファンド事務局はホームページや人目につきやすい場所等で登録団体の情報を公開したり、ニュースレターなどで広報して市民からの寄付を募っていきます。NPOへの寄付は、団体情報を吟味した市民が寄付先の団体を指定して行われ、事務局経費の20%を差し引いた残りがそのまま指定団体に渡されます。そのとき寄付者には、Jファンド事務局から寄付額に相当する「Jマネー」(1円=1J)がお礼として渡され、Jファンドに協力を表明していただいた事業所(商店、企業など)で支払いの一部として利用することができるほか、個人間の助け合いのお礼などにも自由にご利用いただくことができます。

●登録の対象となる団体/次の1~8のすべてに該当するNPO。法人格の有無は問いません。
1、原則として三重県において活動している団体であること。/2、非営利団体であること。/3、不特定かつ多数の者に対する公益的な活動を行う団体であること。/4、宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教料育成することを主たる目的とする団体でないこと。/5、政治上の主義を推進し、支持し、またはこれに反対することを主たる目的とする団体でないこと。/6、特定の公職の候補者もしくは公職にある者又は政党を推進し、支持し、又はこれらに反対することを目的とする団体でないこと。/7、団体としての活動実績を6カ月以上有すること。/8、その他、理事会が定める条件に該当すること。

●登録方法/ホームページ<http://j-fund.web.infoseek.co.jp>から登録してください。
市民からの寄付は10月1日(金)よりスタートします。企業などからのまとまった額の寄付も予想されますので、登録をご希望の団体はお早めにご登録ください。

●説明会/10月6日(水)PM2:00~PM3:00 四日市市民活動センター
●問い合わせ先/510-0093 四日市市本町6-2(こらぼ屋内) Jファンド事務局
Tel.0593-57-5657

◆発行◆

514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
NPO室のホームページ
<http://www1.mienpo.net/npot>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動にニュースはこちらにあります!

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターバレス3階)/オールウェイズ(津センターバレス1階)/津中央郵便局ボランティアコーナー(津市中央)/【有】デザインオフィス萩野(津市大谷町301-1)/市民活動情報ネットワークすずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15)/南勢町市民活動室連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内)/特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市一色町2)/鳥羽NPOネットワークセンター・結(鳥羽市鳥羽1-3-8)/特定非営利活動法人みえきた市民活動センター(桑名市中央町1-8東和ビル内)/四日市市民活動センター(四日市市蔵町4-17)/寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19)/ウィリアム テルス・アップル まちづくりセンター(上野市小玉町3045-1)/みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階)/上野市中央公民館/上野市立図書館/上野市民ITサポートセンター(特)平成・伊賀@LAN事務局/上野青年会議所/名張市立図書館/名張青年会議所/皇学館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター/エコリソート赤目の森(名張市上三谷268-1)/明和町市民活動サポートセンター(明和町馬之上944-5)/松阪大学(松阪市久保町1846)/松阪市市民活動センター(松阪市日野町788)/名張市市民活動センター(名張市夏見2812)

【地域の社会福祉協議会】県内69の市町村社会福祉協議会
【金融機関】百五銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店
【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広町113)/三重県地域機関(各県民局)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)/三重県民サービスセンター(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/宮富歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/各市町村役場

アスト de プロデューサー 11 岡嶋多華夫

「協働ってなに?」

最近やたらと協働が全国的に流行っていて、何を重要視しているのか気になって見てみると、要はお互いの対等性・信頼性と事業の透明性を謳っているようです。

「対等性」「信頼性」「透明性」を謳うだけではなく、相手との建設的なコラボレーションによって生み出された「じっとしてられない動的な情報」があってこそ、そして結果的に「問題解決力」が備わるという作用があってこそ、はじめて「協働」と言えるのではないのでしょうか?

協働とは「まちのプロジェクト」!協働に関わる機関や団体は「プロジェクトパートナー」(上も下もない一構成員)!

協働作業とは「コラボレーション」!そこから生まれるものは「じっとしてられない情報」!わくわくしてくるプロジェクトメンバー!おもわず混じりたくなる周りの人!寄ってらっしゃい見てらっしゃい!...ってなったらいいなあ(笑)。

ボランティアコーディネーターってなんだ?? 16 野村希代

先日紀伊半島沖で大きな地震がありました。県内で震度5弱を記録したところもありました。揺れはとも長く感じ、不安で眠れなかった方も多かったのではないのでしょうか。偶然にも、その地震が起こった日は、三重県総合防災訓練があった翌日でした。

その総合防災訓練の中で、私は会場に来ていた方々へのアンケートを行いました。現在の防災対策などについて伺ったのですが、さすがに防災訓練に来ていた方々だけに、比較的意識は高く、備えをしっかりとされている方も多かったように思います。

ただ、地震を経験したことのない外国の方はかなり不安だったようで、地震のあと、「本当に怖かった」と言っていました。中には屋内では危険だから外で寝ると言った方もいたそうです。また、ある町では、地震直後に高齢者から「自分一人では避難ができないから迎えに来てくれないだろうか」と役場に電話がかかってきたそうです。さらに別の町では、避難所まで車で避難してきた人が多く、避難所周辺で路上駐車が目立ったという話も聞きました。

地震をはじめとする災害については、ニュースなどででも取り上げられる機会が増えたため、全体的に防災意識は高くなってきていると言われてます。しかし、一方で、情報が届かない人たちが自由に動くことができない人は取り残されていたり、正しい理解が得られていない部分があったりするということがわかりました。こうした事例を教訓に、地域の住民やボランティアとともに、小地域での助け合いや防災意識の啓発などをさらにすすめていく必要があるのではないかと。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は3団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室及び各県民局生活環境森林部に備え置いてあります。

●認証申請団体

(1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地

(1)まちづくり桐ヶ丘(2)山崎昇(3)名賀郡青山町桐ヶ丘3丁目333番地

(1)Discover Higashi-Kishu(2)野口桂司(3)南牟婁郡御浜町阿田和5014番地の65

(1)三重ダマ・ヨーガ道会(2)金森篤子(3)四日市市新正4丁目11番地16号
(平成16年8月11日~平成16年9月9日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

特定非営利活動法人 博愛の丘(16年7月20日)

特定非営利活動法人 あかいほ(16年7月28日)

特定非営利活動法人 まごころネットワーク・囲炉裏(16年8月5日)

(平成16年8月11日~平成16年9月9日届出分)

【みえ県民交流センター運営委員会からのお知らせ】

みえ市民活動ボランティアセンター利用ルールの改正について9月2日運営委員会です承されましたのでお知らせします。

◆予約時期が変更になります。

市民活動団体の予約は、現在の3ヶ月前を6ヶ月前に変更します。ただし、イベント情報コーナーは、1ヶ月前になります。

◆利用届出書の提出が必要になりました。

イベント情報コーナーとミーティングルームは、利用届出書が必要になりました。届出書は、受付か当センターのホームページで入手できます。受付は、受付窓口、ファックス、電子メールで受け付けます。

◆利用目的により制限します。

趣味、サークル、各種教室の場合は、利用できません。イベント情報コーナーは、イベント、展示、会議、講演に限って利用が可能です。会議はなるべく交流スペースを利用していただき、ミーティングルームは特別な配慮が必要な内容のものに限ります。

その他の詳細、不明な点につきましては、市民活動ボランティアセンター受付までお問い合わせください。

●問い合わせ先/みえ市民活動ボランティアセンター

Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971

E-mail center@mienpo.net

ホームページ http://www.mienpo.net/center/

イベントスケジュール

亀山すまい塾

●とき/9月25日、10月2・16・30日、11月13・27日(土) PM7:00~PM9:00

●ところ/北東地区コミュニティセンター ※変更有

●参加費/全講座・1家族5000円

1講座のみ参加・1家族1000円(資料代、消費税込)

●内容/住宅展示場やテレビ・雑誌・インターネットなどで、住宅関連の情報を入手される方がほとんどですが、これでは興味のあることに情報が偏ってしまいがちです。そこで、現在、活躍中の亀山市、鈴鹿市、四日市市の設計士、大工、工務店が集まり、一人でも多くの施主さんの笑顔が見たいという思いのもと開催しているのが亀山すまい塾です。メンバーが講師となり、バランス良く効率よく、後悔しない住まいづくりのポイントを教えます。講座はすでにスタートしていますが、途中からの参加もOKです。

●申込・問い合わせ先/519-0111 亀山市栄町萩野1488-185 亀山すまい塾事務局 なかの材木(担当:多田)

Tel.0595-83-1596 Fax.0595-83-1818

E-mail n.lumber@za.ztv.ne.jp

ホームページ www.alfa-system.net/sumai

8耐!文化トーク(北勢)

●とき/10月2日(土)AM11:00~PM7:00

第1部 AM11:00~PM5:15 トーク&ディスカッション

第2部 PM5:30~PM7:00 交流会

●ところ/じばさん三重6階ホール(四日市市安島1-3-18 Tel.0593-53-8100)

●参加費/第1部無料、第2部1500円(交流会経費)

●内容/「50年後の文化県みえを語る」をテーマに、県民の皆さんが日本文化デザインフォーラムのメンバーとともに幅広い視点から、あすの三重の文化を自由に語り考える場です。当日はコーディネーターに三重大学人文学部教授の渡邊明さんを迎えるほか、多彩なパネリストの参加を予定しています。ちなみに、日本デザインフォーラムとは、文学、哲学、建築、評論など多彩な分野から専門家約150人が自発的に集まった団体です。狭義のデザインを超え、社会や文化に新しい角度から働きかけるいとなみをデザインと捉え、来るべき時代のあり方について考えるなど、様々な活動を行っています。なお、第1部来場の方には軽い昼食を用意しています。

●募集人数/30人程度(応募者多数の場合は抽選)

●応募締切/9月24日(金)

●申込方法/E-mail、ハガキ、Faxにて、住所・氏名・年齢・所属団体・電話・参加予定時間を明記し、下記まで。

●申込先/514-8570 津市広明町13番地 生活部文化振興室

「8耐!文化トーク<北勢>係」 Tel.059-224-2646

Fax.059-224-2408 E-mail bunka@pref.mie.jp

●主催/日本文化デザインフォーラム、三重県

「みえ九条の会」設立準備会

●とき/10月2日(土)PM1:00

●ところ/みえ県民交流センター ミーティングルーム3・4 (津駅前アストビル3F)

●内容/自衛隊を合憲にするように九条を変えよう、という議論もあります。しかし、日本国政府は、自衛隊の存在は憲法九条の下で合憲であり、PKO活動などの「国際貢献」にも参加できるけれども、ベトナム戦争やイラク戦争のような海外での戦闘行為を行うことはできない、と説明してきました。したがって、九条を改正することは、「自衛隊を合憲にする」ことを超えて、海外での武力行使を合憲にしてしまうでしょう。この半世紀の間、憲法九条は、わたしたちの平和な生活を守ってきました。この事実を直視することなしに、国の根本原理を放棄することは、将来のわたしたちの生活に望ましくない結果をもたらすことになるでしょう。今必要なのは、市民一人ひとりが、将来の日本社会を真剣に考え、声を上げる勇氣を持つことです。「みえ九条の会」は、日本国憲法九条の明文改正を拒否する意志をもっている方であればどなたでも歓迎します。

●申込・問い合わせ先/三重大学人文学部・寺川研究室

Tel.&Fax.059-231-9168 E-mail art9mie@excite.co.jp (添付ファイルでの送信は避けてください)

クラフト & 手作り品フリマ in

県協働事業・櫛田川デー 2004

●とき/10月3日(日)AM11:00~PM3:00(雨天決行)

●ところ/ゆとりの丘(多気郡勢和村・勢和図書館隣り)

●出店料/1400円(2.5×2.5m 50ブース)

●内容/シャープの液晶テレビが当たるスタンプラリー、音楽ステージ、相可高校の飲食販売など、毎年恒例のイベントです。このなかのコーナー事業としてクラフト作品や手作り品を販売するクラフトフリーマーケットを開催します。

●持ち物/机、台車、テントなどは各自で。

●応募締切/実施日の1週間前(空きがあれば受付)

●申込方法/氏名、住所、電話、Fax、主な出展内容をメールで送信。

●申込・問い合わせ先/チャンネルM・フリマ担当

E-mail ch-m@m5.dion.ne.jp

●主催/櫛田川デー実行委員会

ガーデンフェスタ'04

●とき/10月11日(祝・月)AM9:00~PM5:00

●ところ/県営鈴鹿スポーツガーデン

●内容/水泳場では、シドニーオリンピック背泳銀メダリスト中村真衣選手を迎え、模範泳法・泳法指導を行います。

【水泳場】

・プールの無料開放(サブ・メインプール)AM9:00~PM4:30

・中村選手によるトークショー(会議室)AM10:00~AM11:30

・中村選手による模範泳法・泳法指導(メインプール)

PM1:00~PM2:00

・鈴鹿医療科学大学加藤先生による講義(会議室)正午～PM4:00
・健康体力測定(会議室)正午～PM4:00
・飛込体験教室(飛込プール)AM10:30～正午/PM2:00～PM3:30

小学2年生以下は保護者同伴、スイミングキャップが必要、PM4:00最終入場

問い合わせ先 / Tel.0593-72-2250

【庭球場】

・テニスコートの無料開放(屋外コート12面)AM9:00～PM5:00
・スポンジテニス体験(シェルターコート)PM1:00～PM5:00

問い合わせ先 / Tel.0593-72-2285

【サッカー・ラグビー場】

・フットサルコートの無料開放(第4グラウンド)

AM10:00～PM3:00

・簡単ラグビーゲーム等(第3グラウンド)AM9:30～PM3:00

問い合わせ先 / Tel.0593-72-2511

川づくり会議みえ第13回勉強会【菟川観察会】

とき / 10月11日(月・祝)PM1:00～PM4:00

ところ / 松阪駅近鉄側改札口集合(車に分乗して移動)

参加費 / 無料

内容 / 菟川は一級河川柳田川の派川で、柳田川のももとの本流という説もあります。沿川には斎宮跡があり、かつては斎王が禊を行ったと伝えられています。この歴史が深く、河畔林の残る自然ゆたかな菟川を、柳田川分流堰から河口まで観察します。講師は京都大学大学院理学研究科の北村淳一さんです。

申込・問い合わせ先 / 川づくり会議みえ(事務局:久世憲志)

Tel.090-5637-0727 E-mail kuze2@bronze.ocn.ne.jp

ハートバランス勉強会

とき / 10月13、27日(水)PM7:00～PM8:00

ところ / 名張産業振興センター アスピア 参加費 / 無料

内容 / 13日は『“パニック障害”って?』。誰もが結構身近に感じているこの病気。今回は『パニック障害ってなんだろう?』と言うところから、一緒に考えてみましょう!27日は『昭和の日中関係』をテーマに、日中戦争から日中友好条約までの日本と中国の関係を当時の時代背景を織り交ぜて楽しく分かりやすくお話しします!

申込・問い合わせ先 / 名張市平尾3068-12 KAJITA BLDG.2階 特定非営利活動法人ハートバランス研究所(担当:西川)

Tel.0595-62-1717 Fax. 0595-62-1719

E-mail m_nishikawa@heartbalance.jp

ホームページ http://www.heartbalance.jp

未来塾2004(後期)

「日本を知る一難民、人身売買、多文化共生」

とき / 10月15日(金)PM6:00受付開始

PM6:30～PM9:00

ところ / 名古屋国際センター 第2研修室(3階)

参加費 / 一般 各回1000円(全3回参加 2000円)

学生・会員 各回500円(全3回参加 1000円)

内容 / 現在、世界中には様々な理由で難民となっている人々が大量にいます。では、難民とは一体どんな人たちのことでしょうか?また、日本ではどのように難民の人たちを受け入れているのでしょうか?実際にビルマからの政治難民として日本で暮らしているココラットさんとなぜ難民になったのか、日本での苦労、現在の活動、他国にいるビルマ難民の生活などについて語り合います。世界が平和になるために難民問題について一緒に考えましょう!

主催・申込・問い合わせ先 / 462-0822 名古屋北区東大曾根町本通り3-676 特定非営利活動法人 地域国際活動研究センター(CDIC) Tel.&Fax.052-917-4590

E-mail ccidi@nifty.com

ホームページ http://homepage3.nifty.com/ccdi/

いがもん ほんまもん うまいもん まるごと伊賀体験

～伊賀のええもん見にきてだあ～こ!～

とき / 10月17日(日)AM10:00～PM3:00

ところ / ゆめドームうえの(第1競技場)及び競技場前広場(上野市ゆめが丘一丁目1番地の3)

内容 / 生産者(農業・林業者等)、消費者との交流を通して伊賀の魅力を確認。主な催しは伊賀地域の農林産物等を利用した体験、伊

賀地域の農林産物等の販売、展示です。

【こしがらおいしい香りのコーナー】伊賀牛の串焼き販売、さつまいもの焼き芋試食、フランク屋台、発芽玄米酵母生地のパンづくりなど【青空市コーナー】地元青空市・直売所が大集合! 地元産の野菜や花、花苗、茶、伊賀米、卵、漬物などの販売

【食の体験コーナー】もちつき大会、炊きたて伊賀米でのおにぎりづくり、クレープづくり、伊賀酒きき当て、パスタづくり、ポップコーンづくりなどの体験

【木と緑の体験コーナー】木工体験、フラワーアレンジメント、寄せ植え、生ゴミ資源化などの体験、花・花苗 木工製品の販売

【足湯コーナー】さるびの温泉足湯、島ヶ原村温泉足湯

【展示コーナー】地産地消、食の安全・安心に関する展示

問い合わせ先 / 伊賀県民局農政商工部農政・普及室

Tel.0595-24-8141

主催 / いがもん ほんまもん うまいもん まるごと伊賀体験実行委員会

SAS suzuka autistic study

鈴鹿自閉症勉強会

とき / 10月17日(日)PM1:30～PM4:00

ところ / 鈴鹿市ふれあいセンター

(鈴鹿市南玉垣町 Tel.0593-86-3704)

参加費 / 1000円 募集人数 / 70人

内容 / 講師は最重度自閉症男児の母であり、ノーマライゼーションイベントコーディネーター、堺おもちゃ図書館の代表である小田多佳子さん。テーマは「最重度自閉症児との暮らし～やんちゃなやあくん、町を歩く 気ままな母さん、我が道をゆく～」です。

申込・問い合わせ先 / 亀田佳子 Tel.0593-88-7856

Fax.0593-88-7857 E-mail HZA04713@nifty.ne.jp

科学技術振興センター テクノカレッジ 「第6回なるほど・なっとくセミナー」

とき / 10月23日(土)PM1:30～PM3:30

ところ / アスト津3Fイベント情報コーナー

(津市羽所町700)

参加費 / 入場無料(事前予約不要)

内容 / 科学技術振興センターが日頃取り組んでいる研究内容や科学技術について、県民の皆さんにわかりやすく解説します。今年度2回目となる第6回は、水辺環境に関わる3つの話題にスポットをあてます。自然の力を利用した生活排水の浄化や簡単にできる河川の水質チェック方法、さらに環境に配慮した最近のコンクリート材料とその利用例を皆さんに紹介します。

主催・問い合わせ先 / 四日市市桜町3690-1 鈴鹿山麓研究学園都市センター内 三重県科学技術振興センター総合研究企画部研究企画グループ Tel.0593-29-3620

(当日に限り 090-7954-2664) Fax.0593-29-8017

ホームページ http://www.mpstpc.pref.mie.jp/

～国際協力の日フェスティバル～ 「地球のステージ」

とき / 10月23日(土)PM2:30開場、PM3:00開演

ところ / 鈴鹿国際大学 G棟1階 国際文化ホール

参加費 / 無料(250席・自由席)

内容 / 総観客動員数5万人を超えた感動のステージが三重県初上陸! 難民キャンプで医療活動を続ける医師が、自作の歌・ギター演奏・スライドと共にいきいきと弾き語る「コンサート・ステージ」。世界で起きている様々な出来事を、講演形式ではなく、音楽と大画像、語りと曲で構成する新しいタイプの国際協力活動紹介です。なお、当日は鈴鹿国際大学の学園祭「NGOサミット in 鈴国大2004」が同時開催されています。

主催・問い合わせ先 / (財)三重県国際交流財団

Tel.059-223-5006



演奏中の医師・桑山さんとイラクの少女

ころ。
 ●応募締切／10月6日(水)
 ●申込方法／参加申込書(参加申請様式)(ホームページからダウンロード可)に必要事項を記載し、Faxにて下記まで。
 ●問い合わせ先／三重環境県民会議事務局 Tel.059-245-7512 Fax.059-246-7512 E-mail kenmin@mec.or.jp
 ホームページ <http://www.mec.or.jp/kenmin>

住民リポーター募集



三重テレビでは身近な話題を自らビデオカメラで撮影しレポートする『住民リポーター』を募集しています。
 サークルや学校のクラブ活動のPR、名物先生、街の天才少年、隠れた人気スポットなど…。テレビ局のスタッフや新聞記者も知らない『特ダネ』をどんどんレポートしてください!
 住民リポーターのコーナーは『ワドキ元気』(月曜から金曜夕方6時半から生放送)で毎週木曜日に放送しています。これまでに県内で活動する100以上の団体が出演し、約300人の住民リポーターが誕生しています!興味のある方は、気軽に連絡ください。なお、布教活動や営利活動に関する内容はお断りしています。
 ◆ビデオカメラは無料でお貸しします!
 ◆ビデオカメラの撮影の仕方もお教えします!
 ●問い合わせ先／三重テレビ放送住民リポーター係(担当:平田、藤井) Tel.059-223-3360 Fax.059-228-9334
 E-mail hirata@mietv.co.jp

三重県営鈴鹿スポーツガーデン スポーツ教室受講生募集!!

【『レベルアップ水泳』コース】
 ●とき／11月11日～12月16日(毎週木曜日・6回)
 PM2:00～PM3:30
 ●対象一般成人。クロールで15M以上25M未満泳げる方。
 【『アクアボックス(朝)中級』コース】
 ●とき／11月11日～12月16日(毎週木曜日・6回)
 AM10:00～AM11:00
 ●対象一般成人。アクアボックス・アクアボックス経験者。

【『アクアボックス(夜)中級』コース】
 ●とき／11月12日～12月17日(毎週金曜日・6回)
 PM7:00～PM8:00
 ●対象一般成人(高校生を除く18歳以上)
 以下、3コース共
 ●参加費／5000円 ●ところ／水泳場 ●募集人数／30人
 ●申込期間／10月1日(金)～10月17日(日)
 ●申込方法／水泳場に直接来場するか、往復はがき・FAXに住所・氏名・年齢・電話番号・コース名を記入し下記まで。インターネットでも受付ます。申込多数の場合抽選。
 ●申込・問い合わせ先／510-0261 鈴鹿市御園町1669番地 泉宮鈴鹿スポーツガーデン水泳場 Tel.0593-72-2250 Fax.0593-72-2260
 ホームページ <http://www.garden.suzuka.mie.jp>

助成金 ニュース

(財)ポーラ美術振興財団各種助成

●受付期間／10月1日(火)～11月20日(水)消印有効
 ●助成の対象となる活動／1、若手芸術家の在外研修。2、美術館職員の調査研究。3、美術に関する国際交流…A.海外美術展。B.国内開催の国際会議
 ●対象事業の期間／平成17年4月1日～平成18年3月31日
 ●応募方法／ホームページから応募要領、及び申請書をダウンロード。またはA4サイズ用紙の入る返信用封筒(140円切手添付)に返信先と希望する対象分野を明記し、下記まで申請書を申込む。なお、記入済みの申請用紙は必ず郵送してください。
 ●問い合わせ先／(財)ポーラ美術振興財団助成係
 141-8523 東京都品川区西五反田2-2-3
 Tel.03-3494-8237(代) Fax.03-3493-6293
 ホームページ <http://www.pola-art-foundation.jp/>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。
 (財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
 ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

各地のネットワークから

桑名市

特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター
 510-0068 桑名市中央町18東和ビル2階
 Tel.0594-27-2700 Fax.0594-27-2733
 E-mail fanclub@mie-kita.gr.jp ホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/>

来て見て採って食べてまるごとトマト トマトとハーブのハーモニー

農村女性ネットワーク「たべごろ」桑名地区 安井早苗 <http://www4.ocn.ne.jp/~tabegoro/>

9月5日(日)、桑名郡木曾岬町の北部公民館で消費者を対象にキッチンハーブの寄せ植え教室とトマト料理の講習会を開きました。約40人が参加しました。この行事は、県内の農村女性ネットワーク「たべごろ」の桑名地区のメンバーが中心になって地産地消のプロジェクト活動を利用して企画しました。県北部の木曾岬町、長島町は県内でも有数のトマトの産地で、園芸農家も多くあります。そんな地域の農業を身近に感じてもらう、地産地消を進めていこうというもので

トマトをテーマに3回の行事を企画しています。

この日は朝から木曾岬町民講座のハーブ教室のメンバーと連携して、料理教室の準備をしました。また、地元の園芸農家が育てたバジル、ルッコラ、月桂樹などの寄せ植えを楽しみ、料理講習をしました。昼食は皆で作ったトマトとバジルのピザ、チキンの香草焼き、ハーブの入ったサラダ、ミントのパパロア、たべごろ会員の作った梨やブドウ、ハーブティーや大安町産のお茶をいただき、交流会の場としました。交流会では、それぞれの農家が持ち寄った食材(トマト、お茶、梨)の紹介、志摩町から参加の「たべごろ」会員は会についての紹介や、地産地消について農家の立場から説明しました。また、1回目の小学生トマト収穫体験の企画に協力してもらった桑名子どもネットの人たちからは、「トマトや畑の野菜がどんな風になっているのか様子を実際に目で見たり、はさみで収穫したり、トマトを1つずつ湯剥きして食べたり、普段体験できない事を体験した。また、トマトを嫌いな女の子が甘くておいしいと初め

て丸ごと食べることができた。お母さんが北海道旅行でおいしいものをたくさん食べてきたと思ったら、地元にもおいしいものがたくさんあると子どもが言った」など、そのときの感想を通して食育の大切さを参加した皆さんに話してもらいました。食事の後は、ミディマトのハウスや観葉植物の温室の農場見学、農産物ハーブ教室の講師でまちかど博物館にもなっている先生の家や庭を見学と実りの多い一日となりました。

この日、実施したアンケートの結果は、地元の農産物を購入している人や買いたいと思う人が31人中29人いて、残りの2人は生産者で地元のものをは是非買って欲しいという意見でした。このようなイベントでは見本市のように実際に買い物かぎたいと答えた人は全員でした。次回、1月18日のトマトケチャップ作りでは、たべごろ会員や地元の農産物の見本市も開いて地産地消を勧めていきたいと思います。

*たべごろネットワーク=個々の農産物、加工品等の有効な販売チャンスを広げたり、朝市・直売所・農村レストランと連携したマーケティングの情報発信をする農村女性のネットワークです。自分たちができることは何か。ひとりひとりの持っている夢を実現させるためにお互いに勉強・研究しながら刺激し合い、励まし合う仲間を集まりです。食文化を大切に、これからの食のあり方について提案し「地産地消」を基本に消費者に伝える女性の集まりです。自然を守り、子ども達にも夢を育てる環境を作っていく仲間の集まりです。誰でも参加でき、自分が選択したことについては自分で責任を持つ自主的なネットワークです。

がんばれネットワーク

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。多気町長谷にある近長谷寺。国の重要文化財であるこの寺を中心にまちづくり、人づくりを考える達昭夫さんから紹介していただいたのは大台町で幅広い活動をされている上野進さんです。

広島から大台町へUターン

……上野さんはずっと大台町にお住まいですか？

平成5年に広島から帰りました。母の介護が必要になり、経営していた会社を後輩に譲り帰省しました。長男の宿命です。平成11年に退職するまで大台町商工会事務局長を勤めましたが、この間に色々な立場の人と知り合いになったことが、現在の活動に繋がったのだと思います。

……商工会でどんなお仕事を？

最初に手がけたのは、大台町商工会活性化のためのビジョンづくりです。来たばかりですから業者に頼んで仕上げてもらうなんていうことは知りませんから、「町」って何だろうと考えました。大台町っていうけど、「人」が住んでいなければ「山」と「川」ではないか、「人」が住んでいるから「町」なんだ。だから町の活性化は「住んでいる人の意識次第」、だから物作りより人づくりが大切なんだ、というところから始めました。自分で調べて書き上げました。ご承知のように大台町の特産品はお茶です。しかし生産高を金額で表してみると、鶏卵が一位だったんですね。驚きました。鶏卵は毎日生産されますが、お茶は一番茶から三番茶まで考えても1シーズン1回ですから当然の事なのですが、「大台町は今」というタイトルでまとめ上げましたが、これが全国商工会連合会を通じて「町づくり研究」の事例発表会で講演することになるとは思ってもみませんでした。「本日の講演会では私の話が一番面白い」なんて大見得を切ってきたのですから、今考えれば冷や汗ものです。「自分で書いたのだぞ」という自信が180人余の笑いを集めてしまいました。

……退職後、活動を始めたきっかけを教えてください。

平成12年4月分権一括法が施行なったことから、三重県も「市町村合併に関する要綱」をまとめることになり、生活者起点の県政ということで懇話会委員として参加しました。翌年には「三重県分権型社会を推進する懇話会」に参加、提言をまとめる作業に加わりま

した。今度は、合併なった新しい自治体の中で、それを実現するシステムをどのように確立するか「地域内分権推進システム研究会」と多くの知人に恵まれ、自己決定・自己責任の新しい分権型社会実現に向けて、またとない貴重な体験と研究を続けております。一方自分が生活しているエリアでは、9月17～19日開催の「宮川流域エコミュージアム全国大会」や「松阪紀勢生活創造圏づくり」での「街道部会マップ・ウォーク」・「まちかど博物館」など、それぞれに関わり深い将来への活動にあけております。そのきっかけはと聞かれれば、市町村合併要綱づくり懇話会に招かれたことが発端ではないでしょうか。

……いくつもの懇話会や研究会、活動に参加して思ったことはありますか？

新しい発想に基づく官民一体のコラボレーションのあり方です。「行政の立場ではそれはできない」という行政の考え方、「行政にやってもらえばいい行政の仕事だ」という民の習慣。お互いその地域で生活する一個人という原点に立って、参画者の立場で物考える意識がなければ何もうまく継続していけないと思いますね。

……分権型社会に向けて、注目すべきことは？

分権型社会とは、各地域が独自の知恵を絞って生きていく住民参画型社会だと思います。だから当然やる気のない地域は地域間競争に落ちこぼれてしまう。地域の絶対的な財産は何であるか、環境・文化・歴史を再検証して先人達の知恵を学ぶべきだと思います。地域の絶対的な財産とは売り買いできない物だと思います。国や県に頼らず自分達が自分達の地域を経営して行くことが分権型社会だと思うし、責任を明確にする社会だと思います。

奥伊勢の文化活動をサポートするNPO法人

……松韻舎とは、どんな集まりなのですか？

大台俳句会や勢和村俳句会を指導している富山俊雄先生(俳人協会会員・春燈燈下集作家)が理事長の「奥伊勢地域に在住する者に対して、俳句の普及に関する各種事業を行い、奥伊勢地域の文化、芸術等の向上推進に寄与することを目的とする」法人です。

……具体的な活動は？

平成16年1月「特殊非営利活動法人松韻舎」として三重県知事の認証を受けました。今年度は9月17日から19日まで開催される「宮川流域エコミュージアム全国大会」を協賛しました。昨年は紀勢町で「大内山川・笠木川界隈を詠む」宮川村で「宮川上流を詠む紅葉狩り五七五」の合同俳句会を開催、大盛会でした。

……俳句会とは、どんなことをするのですか？

宮川流域や大内山流域を、ただ眺めて楽しむだけではなく、しっかり自分の心の中に読み込み、その作者の思いがいっぱい込められた句を作ってもらい、俳句会を開催します。

……俳句の魅力は？

俳句は「座の文芸」です。初めて同士でも旧知



の親友のごとき交流が生まれます。無記名であつめ清記された俳句の中から、自分の印象に残った句を選びます。それを集めて公表、作者が名乗り上げ、賞が与えられたり、楽しく合評したりする先生も生徒もない極めて公平な文芸サロンです。

参画者の立場で物を考える 意識がなければ何もうまく 継続していけないと思ひますね

……今後はどのような活動を?

宮川流域を詠む俳句会を、四季を通じて各地で開催、そのときどきの作品を例句にした、「宮川流域俳句歳時記」を作って、日本一の清流から全国へ発信したいですね。

まちかど博物館「8ミリ映画機材館」

……まちかど博物館館長もやっておられるとか?

個人の技やコレクションを自分だけの楽しみとして閉じておかすに、広く公開展示して、地域の交流拠点にしようという試みがまちかど博物館で、三重県では伊賀・津・桑員・河崎・東紀州他の各地区で展開されています。私の店は松阪・紀勢界限まちかど博物館として現在20館の内のひとつ、日本の8ミリ映画50年の歴史の中の代表的な名機を展示しています。まちかど博物館同士がネットワークを組めば、地域間の交流拠点として面白い活動が出来ると楽しみにしています。

……たくさん機材がありますが、自分で集められたのですか?

いいえ、使ってきたものばかりです。名品・珍品もあり今でもフィルムさえ与えれば映画ができますよ。

……お客さんはどんな方がみえますか?

自分の欲しいカメラの前で、来るたび手を合わせて拝む人がおります。自分の物になるまで拝み倒すのだそうです。こまったことであります。俳句仲間、エッセイグループ、写真グループ、宮川流域案内人、国道42号を走っていて看板をみてバックしてくる人、映画好きの若者グループなどです。

……知人が集まって、長居をすると喫茶店主としては困るのでは? 全然商売になりませんね。もともと商売にならぬとは思っていましたがその通り。赤字を年金内でやりくりして、いかに交流の拠点を守



ずらりと並ぶカメラや映写機。

り抜くか、館長の腕の見せどころだとおだてられて、老人ホームでお世話になるよりもましかなあと、ボケ防止に徹しています。

……上野さんはどんな映画を撮っていたのですか?

広島におりましたから原爆がらみのドキュメンタリーでした。インドネシアのスカルノ大統領が国策として日本に発注した幾隻かの貨物船に備えるために、起工式から進水式、引き渡しまでを、8ミリで記録映画を作るという、とんでもない注文をもらったこともあります。

……映画の取り方を教えて欲しいという依頼もあるのでは?

広島時代はフジフィルム、シングルエエ友の会の指導を、月一回15年。手作り教育映画講座を山口県教育委員会視聴覚センターで8年間、その他結婚式、ビル建設の記録等、いろいろやらされましたが、作る過程が楽しいので、完成品を渡してしまうことはなんとも思いませんでしたしよせんは「楽しみカス」ですからね。

……三重に戻ってからは?

町教育委員会から依頼されて、公民館活動の一つとして一年間「ホームビデオ講座」を担当しました。現在は宮川流域ルネッサンス関係の記録ビデオの制作やら編集やらというところですよ。

……ほかに手がけている作品は?

宮川の自然を撮りたいですね。それからそれぞれの友だちが自分のお通夜に、参列した皆さんに見て貰うための元気なときの映像記録集、上映して回ったらこんな功德はない、楽しいだろうと思ひます。そんなことを考えるより、自分のを作っておく方が正解かもしれませんがね。

まちかど博物館「8ミリ映画機材館」

特定非営利活動法人 松韻舎事務所

自家焙煎コーヒー喫茶 ラ・メール

住所/多気郡大台町粟生720

Tel.0598-83-3777

Fax.0598-82-1763

E-mail la-mer.@ma.mctv.ne.jp

上野 進さんはこの人を **紹介** します。

渡邊幸宏さん

宮川流域案内人として、竹を中心とした緑のNPO活動を行うほか、斎宮歴史博物館で語り部のボランティアとしても活躍中。



上野さんの喫茶店は宮川流域案内人の屯所であり、8ミリ映画機材館でもあります。

お
ね
が
い

市民活動・ボランティアにユースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はにユースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までにお送りください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。